

平成30年度 行政評価シート

施設名	旭川市民文化会館	所在地	旭川市7条通9丁目		
担当部局	社会教育部文化振興課旭川市民文化会館	電話番号	25-7331	内線	6352

1 施設の概要

設置目的	市民の文化及び教養の向上を図るため				
設置根拠	旭川市民文化会館条例				
設置年月日	昭和50年2月2日	増改築			
建設費(単位:千円)	(新築時)	1,398,000	(増改築時)		
規模・構造等	敷地面積 11,440.97㎡, 建築面積 6,460.75㎡, 延床面積 12,394.5㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階, 地上3階建 大ホール, 小ホール, 楽屋, 会議室, 和室, リハーサル室, 展示室				
利用対象者	市民, 文化団体, 企業, 学校, 行政など				
事業内容	・芸術, 芸能その他文化に関する鑑賞会, 発表会, 講演会, 大会, 式典, 会議, その他集会のための施設を運営する。 ・各種の公演, 展示等を企画し実施する。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営	(平成30年度の職員体制) 公会堂運営も含め, 正職員5人(担当課長含む), 臨時・嘱託0人			
	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(一部業務委託)	(委託内容) 管理業務, 舞台設備操作等業務, 清掃業務, 警備業務, 各種舞台設備・機器保守点検業務			
料金制度	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input checked="" type="checkbox"/> その他(自主文化事業入場券売払収入)				
減免制度	あり(旭川市民文化会館使用料減免要領及び取扱基準に基づき実施)				
類似施設 (民間の施設を含む)	旭川市大雪クリスタルホール・公会堂				
類似施設との違い	クリスタルホールは音楽専用の音楽堂・国際会議場を併せ持つ複合施設, 文化会館は大, 小ホール・会議室・展示室を併せ持つ複合施設である。文化会館はクリスタルホールに比べ, より多目的な施設である。 文化会館は大, 小ホール・会議室・展示室を併せ持つ複合施設であるが, 公会堂はホールのみで構成される単館施設(利用時は全館貸切となる)である。				

2 管理運営の状況

(1) 管理経費(文化会館・公会堂含む)

(単位:千円)

年度		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	備考
内訳		(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	
人件費		43,746	42,810	43,182	36,605	
	正職員	43,746	42,810	43,182	36,605	
	臨時・嘱託職員	0	0	0	0	
需用費		52,081	59,688	53,893	56,627	
	燃料費	8,291	10,032	11,711	12,263	
	光熱水費	37,453	35,007	32,879	35,594	
	修繕料	3,483	11,884	6,739	5,824	
	消耗印刷費	2,854	2,765	2,564	2,946	
委託料		124,499	125,819	127,051	123,339	
使用料・賃借料		16,692	19,086	32,610	33,200	
その他		595	508	513	786	報酬, 旅費, 原材料費, 負担金, 償還金
合計(A)		237,613	247,911	257,249	250,557	
収入	使用料	67,598	64,387	64,094	75,128	
	借家料	838	789	789	789	
	その他	1,990	1,888	1,919	1,997	行政財産目的外使用加 算料, 公衆電話使用料
	合計(B)	70,426	67,064	66,802	77,914	
差引(合計(A)-合計(B))		167,187	180,847	190,447	172,643	

※人件費(正職員分)は, 1人当たり平成27年度7, 291千円, 平成28年度7, 135千円, 平成29年度7, 197千円, 平成30年度7, 321千円で計算すること。

(2) 利用状況

内訳	年度	H27年度 (実績)	H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (見込み)	備考
総利用件数(単位:件)		1,988	1,898	1,897	1,928	
うち免除利用分		45	39	39	41	
うち減額利用分		93	95	97	95	
各室利用率 (単位:%)	大ホール	71%	71%	69%	70%	
	小ホール	66%	61%	59%	62%	
	大会議室	46%	40%	40%	42%	
	第1会議室	41%	38%	37%	39%	
	第2会議室	41%	40%	47%	43%	
	第3会議室	50%	45%	45%	46%	
	第4会議室	23%	19%	19%	20%	
	第5会議室	44%	44%	41%	43%	
	和室	24%	18%	18%	20%	
	リハーサル室	34%	29%	29%	31%	
	展示室	48%	66%	58%	58%	
公会堂	46%	50%	52%	49%		
【参考値】 利用者一人当たりの 市費投入額(千円) (管理経費÷総利用件数)		84	95	100	90	

(3) 市民ニーズの把握

把握方法	■ アンケート調査(実施時期, 提出件数等)	平成26年度に主催者, 来館者, 市民アンケートを実施
	□ 意見箱の設置(設置数, 提出件数等)	
	■ その他の方法(実施時期, 方法等)	文化会館運営審議会を年2回開催し, 事業等に関する幅広い意見を聴取
主な意見と対応状況	主な意見	対応状況
	館内の案内表示がわかりにくい。	案内表示を新たに作成し, 大きく, 色彩で認識できるよう工夫。
	全体的に館内照明・雰囲気薄暗い。	照明のLED化, エントランスにディスプレイ, モニタ, 音楽を流す。
	ホールの音響が悪い。座席が汚く, 狭い。	音響・調光設備を更新する。一部の座席を洗浄・補修。
	ホールの女性用トイレの数が少ない。洋式化が進んでいない。	トイレ数の増加はできないが, 洋式化を計画的に進める。
ホールに車椅子用座席が少ない。	自主文化事業では, 前列の座席を外し, 車椅子スペースを設置。	

(4) サービス向上, 利用者増に向けた取組, 業務改善, 経費削減などの取組(業務委託は次項に記載)

取組内容	実績・成果
会館運営に支障が出ないよう計画的な設備補修。	設備不良により催事を中止することなく, 安定的な運営の継続。
文化芸術に親しむ機会の充実のため, 自主文化事業の継続。	幅広い年齢層を対象に, 多様な分野で鑑賞機会を提供。
文化芸術活動に関わる団体への支援。	使用料減免による文化団体の支援。
館内照明のLED化, トイレ排水の市水化, 使用量の節減。	館内が明るくなり, 光熱水費を年間約200万円削減。
ホームページに空き状況, 施設紹介, Q&Aの掲載。	休館日や開館時間外に空き情報を確認でき, 利便性が向上。
今後の予定	・利用者の要望や改善点を把握するため, 主催者に対し, アンケートや聞き取り調査を予定している。 ・クリスタルホールの利用手続の取扱いも含めて, 事務手続や使用料の体系などの精査・検討を進める。

(5) 業務委託の実績と予定

年度	内容
H5～	舞台設備操作業務委託の実施
H23～	窓口業務委託の実施
H26～	会館の管理業務の一部を一括して委託
H30～	経済性等から一括委託を見直し, 業務ごとに個別委託
今後の予定	業務委託を継続し, 効率的な施設運営を図る。

(6) 指定管理者制度の導入について

指定管理者の担い手	<input checked="" type="checkbox"/> 担い手になりうる団体がある ↳ <input type="checkbox"/> 市内 <input checked="" type="checkbox"/> 市内にはないが市外にはある	
	<input type="checkbox"/> 現時点では、担い手になりうる団体がない	
	説明	文化施設では、施設の運営主体が施設管理と文化事業を行っているが、現状において、市内ではこれらを一体的に担う業者の確保が難しい。
メリットの比較	サービス向上	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 同程度 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入 <input checked="" type="checkbox"/> 不明
	コスト削減	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入 <input type="checkbox"/> 不明
	説明	導入効果として、事業の充実や管理運営経費の削減等が見込まれるが、施設の老朽化が進む中、サービス向上や文化芸術を担う人材の育成、文化振興等における効果には検討が必要である。
他市の導入状況	公益社団法人全国公立文化施設協会に加盟の全国1,425施設中834施設が導入（58.5%）しており、道内の86施設中36施設が導入（41.9%）している。	

3 施設の課題

<ul style="list-style-type: none"> 施設や設備の老朽化が進む中、コスト面にも配慮した施設設備の延命化が求められるとともに、今後の施設整備の方向性を検討する必要がある。 アートマネジメントの専門知識や文化団体とのネットワークを持つ人材の確保が求められる。

4 公共施設等総合管理計画(施設再編計画)における評価

B継続:複合施設	将来にわたり市が保有し続ける施設で、事業・設備の状況から、複合化の受け皿となるもの。
----------	--

5 評価

(1) 1次評価(所管部局)

活動量と成果	説明 ※活動量とは、利用件数や利用率、事業の実施件数など
<input type="checkbox"/> 高い	・大ホール、小ホールの各利用率は、前年度から微減ではあるが、利用団体数、催事件数、来場者数は増加しており、事業目的に対して、一定の成果を上げている。 ・会議室は、利用率、件数が概ね増加しており、同じく、一定の成果を上げている。 ・主催事業の参加者数は3,363人であり、アンケート結果では、参加者の満足度は高く、今後も市民のニーズを把握しながら、来場者増を図っていく。
<input type="checkbox"/> やや高い	
<input checked="" type="checkbox"/> 予定どおり	
<input type="checkbox"/> やや低い	
<input type="checkbox"/> 低い	
運営の効率性	説明
<input type="checkbox"/> 高い	・平成30年度より一括委託から個別委託に戻したこと、電気・ガス・水道使用量の節約により、経費削減を進めた。 ・施設、設備が老朽化しているが、必要最低限の維持補修で行い、経費削減に努めた。 ・他都市では指定管理者制度を導入している事例もあるため、検討の余地がある。ただし、指定管理者制度の導入には、文化会館と公会堂を一体的に考える必要がある。
<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	
<input type="checkbox"/> 標準	
<input type="checkbox"/> やや低い	
<input type="checkbox"/> 低い	
評価及び見直しの内容	
文化会館及び公会堂は地域の文化芸術に関する中核的な施設であり、文化団体の利用割合も依然として高い状況にある。今後も、委託業務を継続し、効率的な施設運営を行うとともに、施設の老朽化が進行していることから、計画的・継続的な施設補修、施設整備の方向性の検討を行いながら、公会堂と一体的に指定管理者制度の導入手法等の検討を進める。	

(2) 外部評価(行財政改革推進委員会の意見)

評価及び見直しの内容

(3) 2次評価(行政評価検討会議)

評価及び見直しの内容
効率的な施設運営に努めながら利用促進を図るとともに、公会堂と一体的に指定管理者制度の導入を検討すること。